

L i g u s t r o [利具]は1924年1月24日、イタリア北西のリグーリア地方の歴史のある美しい湊町のオリーブ油工場の所有者の子として生まれました。

父の仕事を継いでながい間 実業家として活躍したあげく

1972年に彼が精神的に不安定になり、自分自身、更に自分の生活と仕事に対する信念が揺すぶられたのです。その後に病気にかかり、心臓麻ひのために 手術を受けて目が覚めてから自分の人格が変わった様に感じながら東洋、特に日本の思想と美術に引きつけられて、絵を描くことの素晴らしさを感じて、浮世絵の版画の古い技術を研究して復活させながら重苦しい精神状態から逃げる事が出来ました。根気のいる細かい仕事を辛抱強くこなして、鉛筆と筆を毎日手にしながら見たものをそのままに再現出来る技術を得、パステル、テンペラ、油絵などを楽しみながら 自分にふさわしい表現形態を浮世絵に見付けました。その時から西と東を結ぶ不思議な、魅力的な作品が次ぎから次ぎへと生まれました。

1983年のパステルはスケッチ風の自由活発な作品が多いです「オリーブ」、[チアノセッタ]、[ガッセリ]、[オネリア]などの風景や古い建物夜やオリーブの木といった主要なモチーフを色彩で理念化してしまいましたそしてシクラメン、果物、敷物と花瓶のパステルからペン画にうつり葦と花、自然美を求めました。彼の絵は単なる写生ではなくて彼自身の感性に従うものでした。けっして他人をまねしていませんでした。彼は本質的に独学の人であり、彼の画風がおのずから形成されてきたにちがいません。

1985年にはL i g u s t r oはジェノヴァのC h i o s s o n e 博物館で初めて日本の古い伝統をもつ浮世絵に出会い増した。

そしてその気品、その独創的な精神と魅力の虜になりました。彼の精神は生涯の残りを過ごす理想的な場所へと最終的にたどり着きました。Adriano Vantag: gi様とFrabetti先生に導かれて木版画と木版術の輝く世を訪ね増した。天才的なL i g u s t r oが日本でも失われてきた昔の木版術を復活させました:

ぼかし [色が濃から浅へ次第に変化してゆく様に描く技法。]

銀泥 [銀粉をにかわ水にときまぜて絵を描く]

銀砂子 [銀箔を細粉としたもの]

からずり [色のつけられていない、圧迫だけで出来た刷り物]

木目込み [からずりの反対の効果をもたらす技術]

金泥 [金粉をにかは水でときまぜたもの]

- 金箔 [黄金を打って薄紙のようにのばしたもの]
- 金砂子 [金箔を細粉にして明るさを強めるための方法]
- きら刷り [真珠ときららの粉を使ったもの]
- 没骨 [輪郭線を描かないで直接に彩色で対象を描き現す方法]
- さび彫り [筆で字を書いた様な効果を出す方法]

Ligustroが版画芸術の旅人にふさわしくたどり着いた目的と精神状態によって  
 芸名をいくども変えました〔利具〕、〔しゅせい〕、〔狂色〕、〔彫楽〕、〔是虹〕。。  
 。彼が永遠の美を求めるために永い旅に出るようになりました。Ligustroの作  
 品の展覧会が旅の行程を示しています。

- 1984 Galleria La Scaletta 個人展
- 1985 Galleria La Scaletta 個人展
- 1987 Galleria La Scaletta 個人展
- 1987 Galleria Beniamino Sanremo グループ展
- 1988 Centro Culturale Internazionale  
Genova 個人展
- 1989 Associazione Italiana Ex-Libris  
Milano グループ展
- 1989 Museum und Werstaten Schwetzingen  
Germania グループ展
- 1989 Museo di Arte Contemporanea Villa  
Croce Genova グループ展
- 1989 Salone del Libro Torino グループ展
- 1989 Palazzo Ducale Urbino グループ展
- 1990 Associazione Culturale Liceo  
Virgilio Roma 個人展
- 1991 Palazzo Rocca Chiavari グループ展
- 1991 Galleria Il Quadrato Chieri グループ展
- 1992 Associacio Catalana Ex-Libris  
グループ展
- 1993 Palazzo della Permanente Fondazio  
ne L. Berlusconi Milano グループ展

- 1994 Palazzo delle Stelline 歳書票の第25会  
Milano [グループ展]
- 1994 Conservatorio N. Paganini Genova  
個人展
- 1996 Museo di Arte Orientale. Chiassone  
Genova 個人展
- 1997 Centro Culturale Polivalente  
Imperia 個人展
- 2001 Castello Costa del Carretto,  
Garlenda 個人展
- 2003 Casa Liguria Bruxelles
- 2003 日本大使館 ブリュッセル
- 2004 Galleria Il Vicolo Genova 個人展

1986年からLigustroが錦絵と言う1765年から日本の浮世絵のために使われていた技術を研究するようになりました。なしの木と桜の木を彫りながら無心状態にいたる彼の姿を見て驚いた人達がたくさんいました。Ligustroのアトリエの戸が常に開いてあるので通り掛かる人が覗けばすぐに珍客の様に扱われてしまいます。Ligustroは明るい性格の持ち主で大変親切な、活気のある人間です。彼が住む古くて美しい町Imperiaも特産で栄える職能の町であり、人手の加わった自然の風景として旅人の心に深い印象を刻みつけるでしょう。

低い山にかこまれて、海に向かって迫る斜面には別荘、庭の造形の面白さが  
ありま酢。

Ligustroが古臭い常識によって目と精神を少しも濁らさない人間です。原始的な喜び、子供の驚きの様な感情で新しい芸術を創造します。

リグリスタ賛

福田和彦

一九九一年六月初旬のある日。私はフランスの国境に近い港町インペリアにあるリグリスタ氏の画房のドアをあけた。印刷インクと海の潮の匂いが画房の中に漂っていた。そして画房の中に南欧の明るい陽射しがそそがれると、私が かつて見たこともない、目にもまばゆい、金銀や赤、青、緑の色彩に染めあげられた木版画の数々の色彩は大の中に舞い歌っていた。

日本で生まれた錦絵と呼ばれる多彩色木版画派、ここ地中海のはてで、インペリアの地出、まったく装いを新たに生まれかわっていたのである。リグリスタ氏の木版画には日本的な渋い色調や花鳥風月を愛でる風詠はない。あくまでもその透明な色彩は華やか出、明るい。まるで色彩の乱舞だ。南欧の色と光だ。その木版画に見る空刷り、金箔、銀箔は錦織の色ではない。重厚かつ豪華なゴブラン織りの美である。時空を越えた木版画は、今、リグリスタ氏の手によって華美なバロック的な美術として息吹きを与えられていた。

リグリスタ氏の木版画はミュウズが立琴をもって奏でる詩の世界である。

この天真らん漫たる純粹さをを見よう。この純朴たる美しさに陶然となるのはわたし独りではないだろう。

古代中国人の言葉を借りるならば、彼の木版画は桃源の境に遊ぶ境地であり、汲めども尽きぬ清れつな美酒の宴出ある。

この日本の木版画とは想を異にした彼の木版画は現代版画の新しき輝きであると同時に、彼のみごとな詩心の結実である。

一九九一年八月

東京

福田和彦

大坂生。金沢大学教授。日本美術専門。浮世絵評論家。著作は百本以上。

東洋文化と歴史研究室室長ナポリ大学教授Adolfo Tamburelloが

Ligustroの芸術を紹介する論文から：

十九世紀の後半にヨーロッパとアメリカが日本と政治的な契約を結び初めてから日本と日本人の魅力を感じる知識人がどんどん増えてきました。美学的な哲学的な道徳的な思想、

たとえ生と死にたいしての英雄的な観念、義務と義理と忠義の構想。そして柔道、剣道、合気道、武術と関係ある面、なぎなた、剣とそのつばなど。

西洋人も着物、びょう風、版画、扇子、傘、かんざし、櫛、陶器、塗り物の色あいと肌ざわりに引きつけられた。日本人が日常使う調達品にも心と感覚を洗練する美がひそめて有ります。日本がアジア文化—中国、朝鮮、印度—の影響を受けながら、その国々とも違う独特な文化地帯を形成しました。日本語の丸味のある柔らかな響き、音楽的なリズム、日本の歌、詩、小説の魅力がヨーロッパの作家—Baudelaire、Claudel、Ezra Poundに深い影響を与えました。Pierre Loti Lafcadio Hearn、イタリアのBartolomeo BalbiとEmilio Salgariなどその物語りの舞台を日本に求めた。

文学よりも日本の芸術、特に書とそれに共通な造形の要素をもつ木版画がイギリスのラファエロ前派、そして日本人も驚いたほど何よりも

フランスの印象派に著しいヒントを与えたでしょう。うたまろ、ひろしげ、ほくさいの絵がヨーロッパ人にもっとも好まれた。浮世絵が江戸で育てられた民衆芸術で肉筆で描いただけでなく、それを木版に削って大衆が楽しめるようにしたものでした。ロートレック、ロッセッチ、マネ、デガ、ゴッホ、ゴーガン

ピサロが浮世絵の独特な背景法、鮮やかな色彩、形いや線の美しさにひかれました。

Giovanni Berioが浮世絵にのみならず日本の古代の絵画も研究した。天上の世界を描いた壁画、文章と絵がはなやかな貴族生活を語る絵巻物、さらびやかな大和絵、現世の歓楽、自然の美を洗練された感覚で描く優雅な大和絵 南画の、色彩の特色が彼の目をどんなに楽しませたことでしょう。鑑識眼が深められ、やっと浮世絵の民衆的な、一番入りやすいと思われがちな門を開いてみたら、そのおくはきわめることができないほど深いと理解、情熱がさらに溢れて、今なおその画房で研究に励み、未知の世界を覗く喜び、好奇心と憧れがGiovanni Berioの精神的な若さを保つにちがいない。特に刷り物に引かれ、その技術を極めながら近代化して前進しようとする欲求にかられた。刷り物は 画家、詩人、彫刻家、木版画師の協力が要るけれども彼が一人で立派にその役割を果たしている。彼がそのためいろいろな方法を考察して非常に洗練された技術で木を彫って、インキをつけて、色彩を加えて木版にします。Henri Riviere, John Platt, Felix

Vallottonも浮世絵の魅力に引かれてまねようとしたが、日本の木版画の一番有名な専門家であるJack Hillierが Ligustroの木版の技術が無類であると声明した。[彼の版画は形態も構成も極めて風流でななめに傾いた背景と流れるような細い、軽そうな線のリズムと動きによって彼の絵が生きているように感じられる。豊かな、純粹な、明るい、優雅な色彩の組み合わせがさらに運動の印象を与えるのに成功している。]

浮世絵の色彩や線の表現的効果を駆使しながら自分の精神の投射としての絵を作ったゴッホがアルルの景色を友人であったEmile Bernardにこう言う風に記述した

:

「この地方の透き通った空と明るい色が日本の美に似ている様に思われる。我々知っている木版画の様な藍色ととり色の斑に見える水が景色を彩っている。薄いオレンジ色の日暮れのために土が紺色に感じられる。太陽は立派に黄色だ。」

この文章が明治時代の末に高村光太郎が書いた印象派に就いての有名な文句を思わせる「誰かが緑色の太陽を描いても僕はこれを非なりといわない。僕にもそう見えることがあるかもしれないからである。」

自分を「版画師詩人」と言いたがるLigustroが刷り物を日本語に訳された彼のおおらかな、生き生きした歌で飾る。画中の自然、人物にふさわしい感情を述べた俳句らしいウイットに溢れた、簡潔な句です。

ジェノヴァ一九九二年五月三日

Jack Hillierとの文通

世界的な権威のある浮世絵の評論家であったJack Hillierがイギリスの出身で学生時代から美術に関心を寄せたが十五歳になった時やむを得ず家計を補うために保険会社に勤めました。仕事に励みながら

HolbornのCentral School of Artを通して彫版師の難しい技術を学ぶ。一九四七年に日本の版画集が手に入る。その美しさに目のさめる思いを味わった。同時に日本の美術を敬愛する心をよびさます結果となった。最初の著作 [Japanese masters of

the color print] が簡明な注解と素晴らしい絵の模写のために日本語で書かれたもっとも著しい日本美術入門と評価されている。

主著 [Hokusai] と [Utamaro] によってSothebysに注目され専門家としてえらべられた。

ほくさいの刷り物を研究するために日本語を覚える必要を悟って専心勉強に励み、四十年間ほくさいのみたての責任を献身的に引き受けた。彼の多くの著作が大好評を得て浮世絵の収集家が彼の注目を高く評価して、彼の集めた絵本に深い興味をもつ。

彼がのこした採集本が今British Museum

の Oriental Departmentの保存に任せられてある。

一九八〇年 British Museumを舞台にして浮世絵の展覧会活動が活発になりHillierがそのカタログに精を出した。

日本美術を採集した億万長者Chester Beatty、Henry Vever、Richard Gale、Ralph Harariのためにカタログを書いて世界中の博物館から展覧会を委ねられた。多数の貴重な研究書と参考書をのこして一九九五年に死す。

Hillierが専門家だけでわなくて、優れた文才と画才の持ち主でした彼の数々の水彩は自然とのしずかな対話をしめしている

Ligustroが日本美術、特に浮世絵の専門家であるHelena Markus先生からHillierの住所を教えてもらって意気こんで最初の手紙をだした



拜啓

突然のお手紙を差し上げます失礼をお許し下さい。

ご住所をミラノのHelena Markusから頂きました。

貴方が浮世絵の専門家であることをうかがいました。私も錦絵の魅力の虜になり長年その技術を研究して、何回も試して実験を積んだあげく色々な版画を作るようになりました。この技術についてもっと詳しく教えていただきたくてMarkus様と貴方にご迷惑をかけております。

残念ながらイタリアでわ日本の民衆的な版画、刷り物とその技術や貴重な紙や色彩について資料を見付ける事が出来ません。

こんな特別な、素晴らしい事、インキ、金、銀、雲母とそれを使っていた江戸時代の最上の芸術家について教えていただけますでしょうか。

今まで得る事が出来た効果をご覧になって評価下さいますために採集家から注文された歳書表の習作をお送りいたしました。

ご指導をたまわります事をありがたく感謝申し上げます。

敬具

1987年7月4日

Ligustroが小さい版画 [ 7. 4 図 ] を添えた。

Arcobaleno di luce, arcobaleno di farfalle

光りの虹蝶々の虹 多色木版画35色 1986年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：いんしゅこうぞ サイズ：合判たてえ

Le logge di Santa Chiara

キャラ聖女修道院の回廊

多色木版画 92色 1987年

技術：錦絵、金泥、ぼかし、きらずり、からずり。

木：桜 紙：たいれい、サイズ：エキストラ大判横絵

Gennaio 一月 多色木版画 60色 1987年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらずり、からずり、きめこみ、きらえ、もっこつ、さびぼり

木：桜、 紙：程村、 サイズ：大判縦絵 [42-24]

Febbraio 二月 多色木版画45色 1987年

技術：錦絵、ぼかし、きらずり、からずり、きらえ、もっこつ、さびぼり

木：桜、 紙：たいれい、サイズ：大判縦絵

Marzo 三月 多色木版画27色 1987年

技術：錦絵、ぼかし、からずり、きらえ、もっこつ、さびぼり

木：桜、紙：中国産絹、 サイズ：大判縦絵

Aprile 四月多色木版画、28色、1987年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらずり、きめこみ、きらえ、もっこつ、さびぼり

木：桜、 紙：程村、サイズ：大判縦絵

Maggio 五月 多色木版画 46色、 1987年

技術：錦絵、ぼかし、きらずり、きらえ、さびぼり、

木：桜、 紙：程村、サイズ：大判縦絵

Giugno六月 多色木版画 18色 1987年

技術： 錦絵、ぼかし、 きらずり、きめこみ、きらえ、もっこつ、 さびぼり

木：桜 紙：程村 サイズ：大判縦絵

Luglio 七月 多色木版画 32色 1987年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらずり、きらえ、さびぼり。

木：桜 紙：程村 サイズ：大判縦絵

Agosto八月 多色木版画 12色 1987年

技術：錦絵、ぼかし、金泥、金すなご、きらずり、きらえ、さびぼり。

木：桜 紙：たいれい サイズ：大判縦絵

Settembre 九月 多色木版画 60色 1987年

技術：錦絵、ぼかし、きらずり、きめこみ、きらえ、もっこつ、さびぼり。

木：桜 紙：たいれい サイズ：大判縦絵

Ottobre 十月 多色木版画 71色 1987年

技術：錦絵、金箔、きらずり、もっこつ、さびぼり

木：桜 紙：程村 サイズ：大判縦絵

Novembre 十一月 多色木版画 24色 1987年

技術：錦絵、ぼかし、きらずり、からずり、もっこつ、さびぼり

木：桜 紙：たいれい サイズ：大判縦絵

Dicembre 十二月 多色木版画 18色 1987年

技術：錦絵、ぼかし、きらずり、からずり、きらえ、さびぼり

木：桜 紙：程村 サイズ：大判縦絵

Corvi nella neve 雪の中のからず 多色木版画 6色 1988年

技術：錦絵、金泥、きらずり、からずり

木：桜 紙：ここ サイズ：エキストラ大判縦絵

Le bambole di Mary Hillier メリーヒッリエの人形

多色木版画 40色 1988年

技術：錦絵、金泥、銀泥、からずり、きらずり、銀箔

木：桜 紙：たいれい サイズ：エキストラ大判縦絵

Mi inchino al sole 太陽にむかってお辞儀をする 多色木版画

43色 1988年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：たいれい サイズ：32-25、5センチ

Magnolia in fiore 花盛りのもくれん 多色木版画 1988

技術：錦絵、金泥、銀泥、ぼかし、からずり、きらずり、きめこみ。

木：桜 紙：ここ サイズ：中判縦絵

Il vento del sud 南の風 多色木版画 39色 1989年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、からずり、きらずり。

木：桜 紙：程村 サイズ 大判縦絵

Il vento gioca 風が遊んでいる 多色木版画 39色 1989年

技術：錦絵 金箔 金泥、銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：いんしゅこうぞ サイズ：大判縦絵

Il mio mondo 私の世界 多色木版画 67色 1989年

技術：錦絵、金箔銀箔、金泥 銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：たいれい サイズ：エキストラ大判横絵 [61-49、5センチ]

La rete dei sogni e la aragosta 夢の網といせえび

多色木版画 42色 1989年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずみ、からずり、さびぼり、きめこみ

木：佐倉 紙：たいれい サイズ：はしらえ [72-24、5]

La rana di Ono no tofu

小野の道風の蛙 多色木版画48色 1989年

技術：錦絵、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、きめこみ

木：桜 紙：たいれい サイズ：はしらえ

Le ortensie e la farfalla あじさいと蝶々

多色木版画 48色 1989年

技術： 錦絵、 ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：たいれい、サイズ：はしらえ

Ciuangze dormiente 眠る荘子

多色木版画 62色、1989年

技術：錦絵、金泥、ぼかし、きらずり、からずり、さびぼり

木：桜 紙：たいれい サイズ：はしらえ

In estate i papaveri 夏にはけしが

多色木版画 38色 1990年

技術：錦絵、 金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜、 紙：いんしゅこず サイズ：大判縦絵

Il sogno della farfalla di Ciuangze 荘子 の  
蝶々の夢 多色木版画 1990年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、真珠の粉

木：桜 紙：程村 サイズ：エキストラ大判縦絵

Ineja オネリア昼間 多色木版画 105色 1990年

技術：錦絵、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：程村 サイズ：大判縦絵

Ineja オネリア 日暮れ

Ineja オネリア 夜

Ape 蜂 多色木版画 10色 1992年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：程村 サイズ：大判

Lindsay Kemp in Onnagata リンサイ ケンプ：女方 おく  
びえ

多色木版画 35色 1992年

技術：錦絵、金箔、銀箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：程村 サイズ：エキストラ大判縦絵

Vele e gabbiani 帆とかもめ

多色木版画 60色 1993年

技術：錦絵、金箔、銀箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：みすみ サイズ：エキストラ大判縦絵

Anno della scimmia 猿年 [自画像入りの絵暦]

多色木版画 80色 1992年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：茶で染められた中国絹 サイズエキストラ大判横絵

La felicità dei pesci 魚の幸福 莊子 によって

多色木版画 80いろ 1992年

技術：錦絵、、金箔、銀泥、金泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：紙にのりづけにされた絹 サイズ エキストラ大判横絵

I pesci. Polpo 魚：ポリプ

多色木版画 28色 1994年

技術：錦絵、、ぼかし、きらずり、もっこつ

木：桜 紙：程村 サイズ エキストラ大

I pesci-pesce pappagallo 魚：おうむ魚

多色木版画 35色 1994年

技術：錦絵、、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、もっこつ

木：桜 紙：ほどむら サイズ：エキストラおばん

I pesci-delfini いるか

多色木版画 28色 1994年

技術：錦絵、、金泥、銀泥、、ぼかし、きらずり

木：桜、 紙：ほどむら サイズ：エキストラおばん

I pesci-pesce angelo 魚 天人魚

多色木版画 45色 1995年

技術：錦絵、 金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、もっこつ

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。おぼん

Pesci - pesce re 魚：王魚

多色木版画 48色 1995年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。おぼん

I pesci - aragosta 魚：いせえび

多色木版画 45色 1992年

技術：錦絵、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。おぼん

I pesci - conchiglie 魚：貝

多色木版画 23色 1996年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。おぼん

I pesci - cavallucci marini 魚：海馬

多色木版画 45色 1996年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：ほどむら 。。。おぼん

I pesci - carpa 魚：鯉

多色木版画 32色 1996年

技術：錦絵、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、もっこつ

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。おぼん

I pesci - gallinelle 魚：くいなさかな

多色木版画 40色 1998年

技術：錦絵、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。おぼん

Anno del gallo 鳥年 [絵暦]

多色木版画 35色 1993年

技術：日誌機絵暦、金箔、銀箔、ぼかし、きらずり、からずり、真珠の粉。

木：桜、紙：たいれい、サイズ：。。。おぼんたええ

Il mercato 市場

多色木版画 110色 1994年

技術：錦絵暦、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、さびぼり

木：桜 紙：みすみ サイズ：。。。おぼんたてえ

Bijin-ga 美人画

多色木版画 18色 1995年

技術：錦絵暦、金箔、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、ごふん、真珠の粉

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。。おぼんたてえ

Imperatore Huitsan .....

天皇 [書家

多色木版画 4色 1995年

技術：錦絵暦、金箔

木：桜 紙：ほどむら サイズ：おぼんたてえ

Omaggio agli attori Danjuro del kabuki

贈 歌舞伎俳優団十郎

多色木版画 48色 1992年

技術：錦絵暦、金泥、銀泥、ぼかし、きらずり、からずり、さびぼり

木：桜 紙：ほどむら サイズ：。。。。おぼん

La fortuna 幸福

多色木版画 6色 1995

技術：錦絵絵、金泥、きらずり

木：桜 紙：ほどむら サイズ：ちゅばんよこえ

Shunga-Profumo di amore 春画 恋いの匂い

多色木版画 160色 1993年

技術：錦絵暦、金箔、ぼかし、きらずり、からずり、さびぼり

木：桜 紙：未済み サイズ：だのおぼんたてえ

Shunga-rami di salice 春画 柳の枝

多色木版画 87色 1993年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらずり、さびぼり

木：桜 紙：未済み サイズ：だのおぼによこえ

Aragosta いせえび

色木版画 113色 1997年

技術： 錦絵、金箔、ぼかし、銀箔。

木：桜

紙：ほどむらさえた

サイズ：大判横絵

中国朱の判：リグ

Il circo サーカス

多色木版画 71色 1998年

技術：錦絵、ぼかし、きらざり。

木：桜

紙：ほどむら

サイズ：大大判縦絵

中国朱：利具、彫楽

Oneglia nel segno dello Zen 禅的なオネリア

多色木版画173色 1999年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、木目込、きらざり、からざり、さびぼり。

木：桜

紙：ほどむら

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、彫楽

La Finestra del pittore

多色木版画 67色、 1999年

技術： 錦絵、ぼかし、きらざり、からざり、もっこつ

木： 桜

紙： ほどむら

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、彫楽

Geisha alla finestra di Oneglia

di giorno 贈 伊藤深水

多色木版画 180色、 1999年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらざり、からざり、さびぼり

木：桜

紙：鳥の子こず

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、彫楽

Geisha alla finestra di Oneglia di notte



e

Gioia di vivere 。 生きる喜び

贈 せつり

多色木版画 81色 1999年

技術：錦絵、金箔、銀箔、ぼかし、きらざり、からざり、さびぼり。

木：桜

紙：程村と瀬田

サイズ：大大判縦絵。

中国朱の判： 利具、彫楽。

Gioia di vivere tramonto 生きる喜び 夕焼け

Gioia di vivere notte 生きる喜び 夜

天照大神の舞い (La danza della Grande Dea del Sole) 金と銀

多色木版画 156色、 1999年

技術：錦絵、金箔、銀箔、ぼかし、きらざり、からざり、さびぼり。

木：桜

紙：程村と瀬田

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、是虹

Citta' del sole-I palloncini 太陽の町、風船

多色木版画 106色 2000年

技術：錦絵、ぼかし、きらざり、からざり、もっこつ。

木：桜

紙：程村

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、彫楽

La citta' del sole Il sole nella rete

太陽の町ー網の中の太陽

多色木版画 187色 2000年

技術：錦絵、金箔、きらざり、さびぼり

木：桜

紙：程村

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、彫楽

Malinconica attesa (Al porto di Oneglia)

寂しい期待

(オネリアの港で)

多色木版画 316色、 2000年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらざり、からざり、銀箔。

木：桜

紙：程村

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判： 利具、是虹

Varco nel cielo 天の入り口

多色木版画 140色、 2000年

技術：錦絵、金箔、ぼかし、きらざり、からざり、さびぼり、銀箔、もっこつ

木：桜

紙：程村

サイズ：大大判縦絵

中国朱の判：利具、是虹

木版画が古い技術です。

絵がその時代、文化、産地などによるものでありながら木版画と彫刻は時代を越えた者であります。

板や壁に彫りつけたりあるいは粗悪な絵具で描く幼稚な絵画、原始絵画しか知らなかった日本人にとって、紙や絹の上に筆で墨、或は豊かな絵具を用いて画く中国絵画は驚くべきものであったでしょう。

百年の後、都は奈良に移った天平時代は日本の画人が中国絵画技法をもって、見事な絵入り経巻を作りあげています。

光沢ある雁皮紙を白、紫、茶、緑、赤、藍色などに浅く濃くぼかして、金銀の砂子を霞みに蒔き、野毛、切箔を散らし、木、草、岩、海、波、花、蝶、魚、で装飾し、東洋的な華麗さを偲ばせる。彼の人物画は彼の豊かな美意識によって生みだされた。彼の絵が今までの絵画的技術方法とはまったく異なったものです。元々絵画は立体を表面に現す技術なので不自由に見えますが本当は自由自在で空を飛ぶ鳥、理想の世界などを現すことが出来る。

絵画の基本的性質はまず建築の壁面の平面性と一致して、平面的であることで、全体の構図も描かれる物の形像もこの原則に一致するのが、原始的な絵の特徴です。形像には陰影を用いて、立体感を与え無くて、平面的な構図で満足し、奥行きのある遠近法的空間を表さない。これが日本絵の特色といっている平面的で線的で色彩が非常に美しいという性質です。リグストロは原始的な方法とともにもっと近代的で複雑な明暗描法で立体感を与えることも出来ます。

### 浮世絵と現代美術

木版画の歴史について長々と述べたのはリグストロが現在の手で数えるほど少ないこの技術の達人であり、版画が絵画に劣らない古い、貴重な美術であることを理解していたできたからです。

日本の浮世絵の絵画の特徴が以前の様に仏教的な幻想を求めず、西鶴と近松の世界、地上の情景をも題材とする様になりました。江戸と大阪の町人、芸人、侍、歌舞伎座、吉原などに入出入する人間の文化です。

十世紀から十一世紀へかけて、貴族たちの色彩感覚は日本的に洗練されて、穏やかに溶け合う配色を求めるようになりました。大和絵の特色はもちろんその描線にも見られるが、その色彩にも特色があったのである。現実の色に捕らわれず、美化して彩色しているところに大和絵はその優雅さを示したのであります。この色彩の特色は浮世絵版画

にも受けつがれている。

東洋でも西洋でも、木版術、印刷術は宗教の教典を普及するために生まれ真下。西洋のグーテンベルグハ発明した活字で、最初に”42行聖書”を作っています。東洋の木版術はパリ語の教典から始まり、やがて文字だけでなく、小さいな一体の仏像を押写しました。日本には1200年以上前に中国から伝来したと言われている木版の技術の根本は木の板を彫って描線を表し、染料をのせて、紙にすり表現するものです。木版は仏教の教典を複写するための印刷技術として用いられていました。そして時代が変わって江戸中期になって浮世絵が流行りだして、木版画が普及されて、十色以上の錦絵の技法が開発され、発展した。木版画は、絵師、彫師の技術で完成されるもので、それぞれの作業は基本的に手作業によるものでした。

原画をもとに絵師が墨だけで下絵を描く。

彫師が下絵をもとに彫師が輪郭線だけの版木を彫る。

。